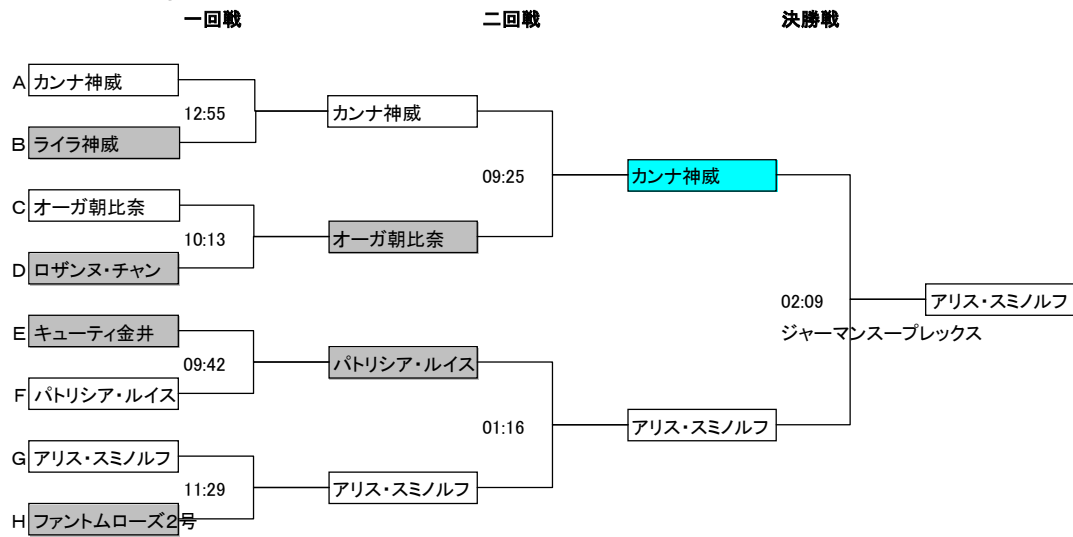


第5回レスル・ワンナイトトーナメント

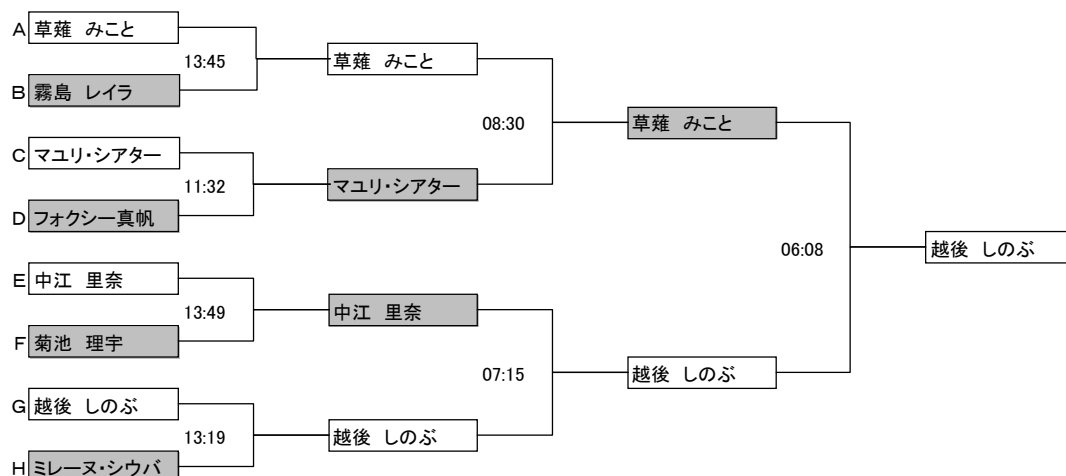
地方大会・北海道 ※北海道は代表2名:ブロック決勝での敗者も決勝トーナメント進出。



『観戦記』

前回の決勝大会で北海道代表・ダークスターカオスが優勝したため、その特典で2位までが決勝進出の北海道地方。万全と思われたカンナ神威が、決勝でアリス・スミノルフにまさかの速攻負け。2大会連続で、北海道チャンプは外国勢となりました。

地方大会・東北



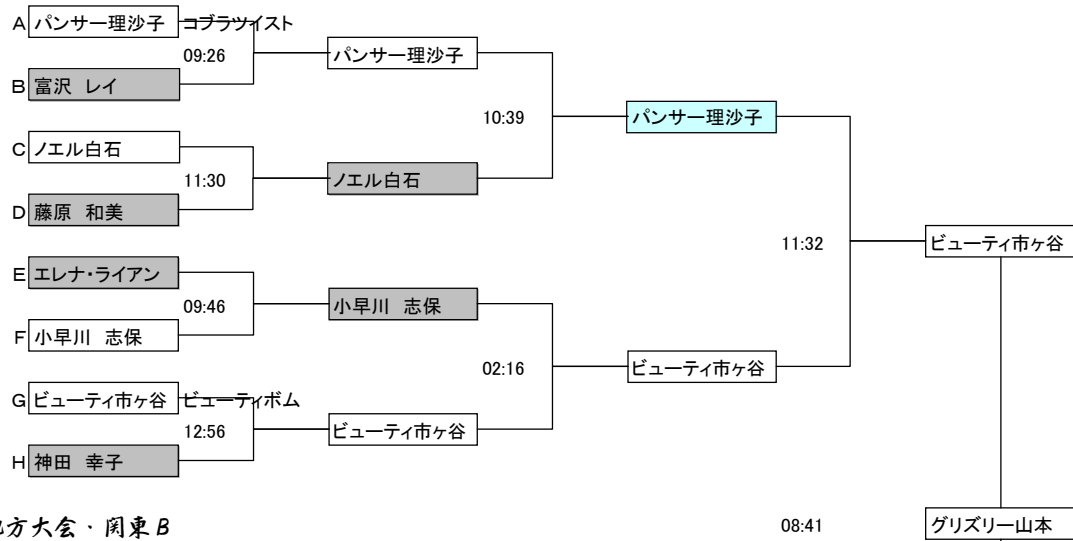
『観戦記』

ベスト4が全員、決勝大会出場経験者となった東北大会。

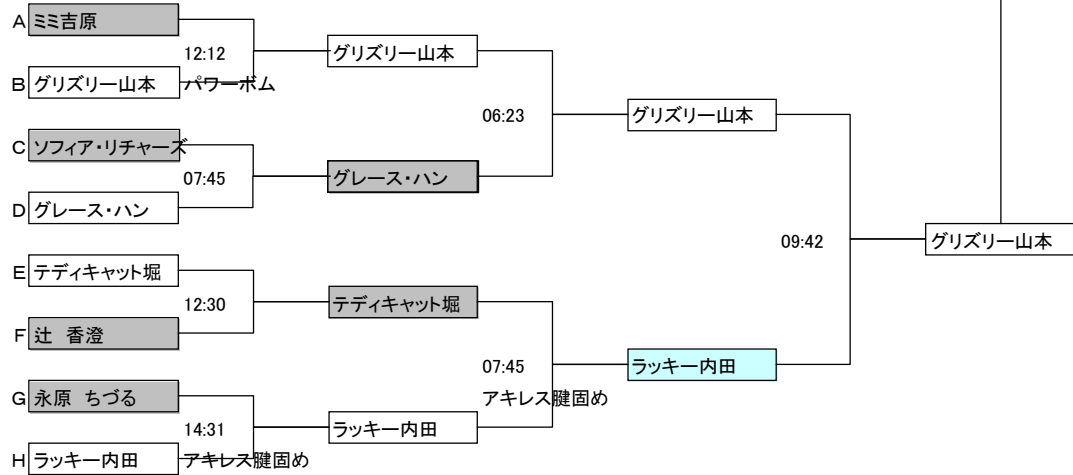
決勝に駒を進めたのは、体カゼロ対MAXから大逆転勝ちを取めた脅威の草薙と、カウント2.9を連発して耐える中江を辛くも仕留めた越後。

決勝戦は、両者体カゼロから同時必殺カードの出し合いに勝った草薙が兜落とし。万事休すかと思われたが場外転落。リングに戻った後に放った延髄蹴りで勝負を決めた越後が、地方大会初優勝を果たしました。おめでとう、越後！

地方大会・関東A



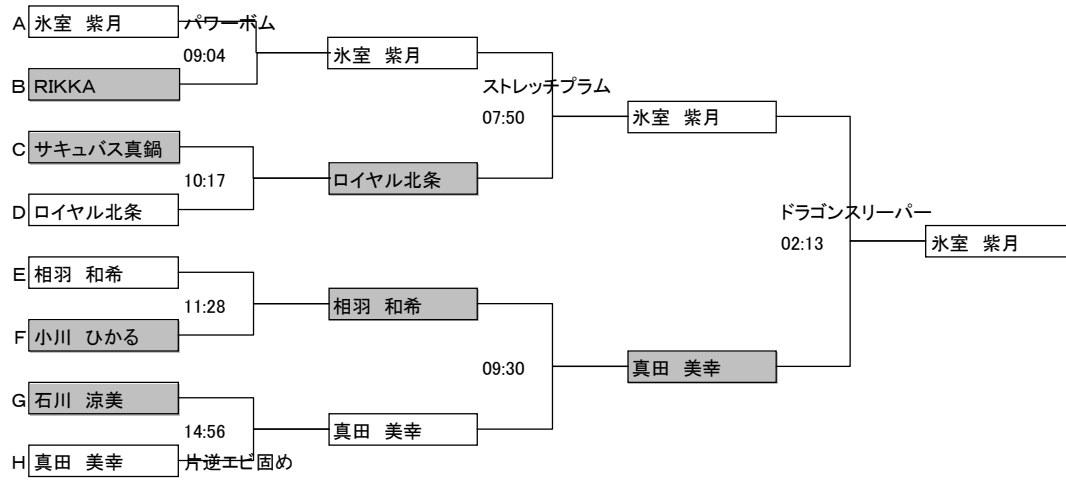
地方大会・関東B



『観戦記』

関東地方は、これまでの4大会での決勝トーナメント進出は市ヶ谷、グリズリー、理沙子の3名が独占という阿修羅地区です。
 今回の抽選では、理沙子、市ヶ谷、グリズリーの3強と、永原／ラッキーの中堅がきれいに別ブロックに分かれました。
 小早川とテディキャット堀の大会初勝利という微笑ましいニュースもありましたが、2回戦では3強＋1の独壇場。
 そして決勝ではグリズリーが遂に市ヶ谷を仕留め5連覇を阻止。初の関東地方大会制覇です。
 ラッキー内田はワイルドカードで初の決勝トーナメント進出。関東地方から4人が全国行きとなりました。

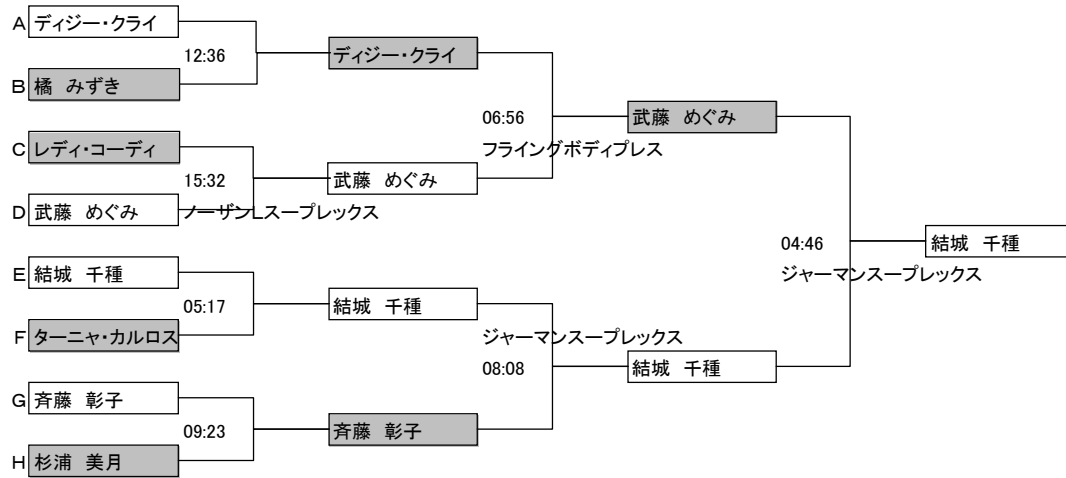
地方大会・甲信越



『観戦記』

日本人8名地区となってから氷室が3連覇と常勝体制に入った甲信越地方。
 準決勝で唯一の敵といえるロイヤル北条を削り合いの末に下した氷室が、
 決勝ではゴング直後のドラゴンスリーパー1発で六文銭真田からギブアップを奪い4連覇を達成。

地方大会・東海



『観戦記』

結城が4連覇中の東海地方。今回は激戦区となりました。

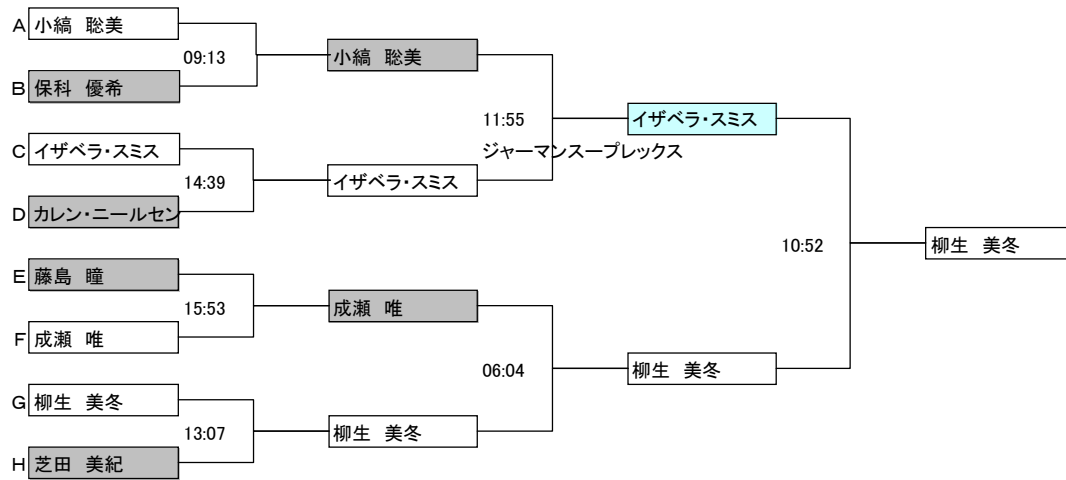
ライバルの武藤のブロックは、レディ・コーディ、ディジー・クライと強豪外国勢が待ち構える地獄状態。

対する結城のブロックには今回から転入した空手家、近畿地方で2回優勝の実績を持つ斉藤が入りました。

結果はちだねのド圧勝。武藤、結城のまえに5度膝を屈す。しかも情け容赦なく投げ4発で抗う術なく爆次。

地方大会5連覇の偉業は、この東海地方の結城ただ一人です！

地方大会・近畿



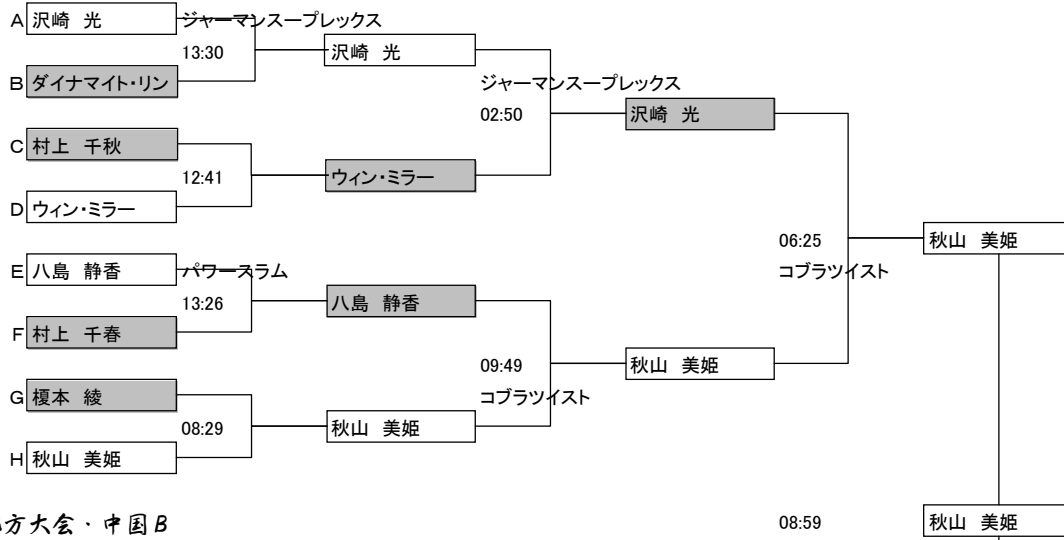
『観戦記』

4大会中2回優勝の斉藤が東海へと転出した近畿地方。

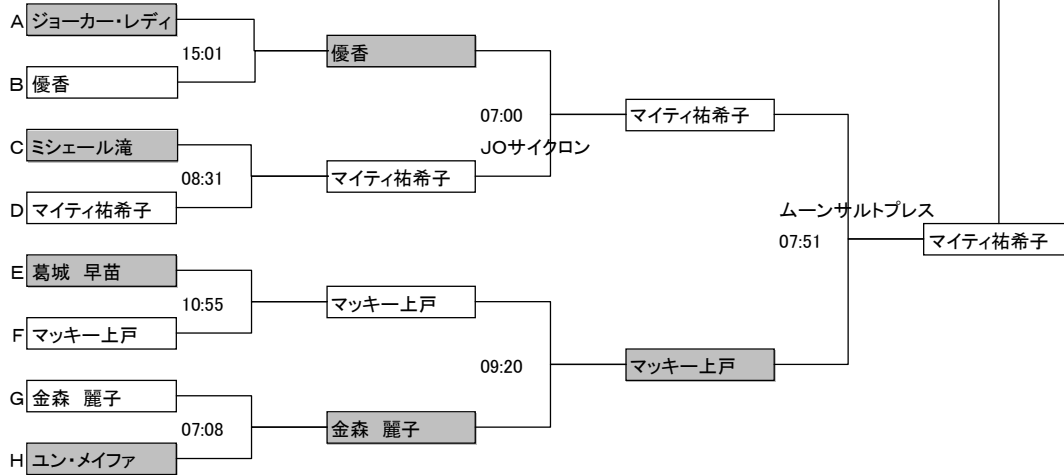
アフロ姉ちゃん対柳生忍者の死闘を辛くも制した柳生美冬が初優勝。前回大会に続き2度目の決勝大会進出を決めました。

そのアフロ姉ちゃんも、ワイルドカードで決勝トーナメント進出です。

地方大会・中国A



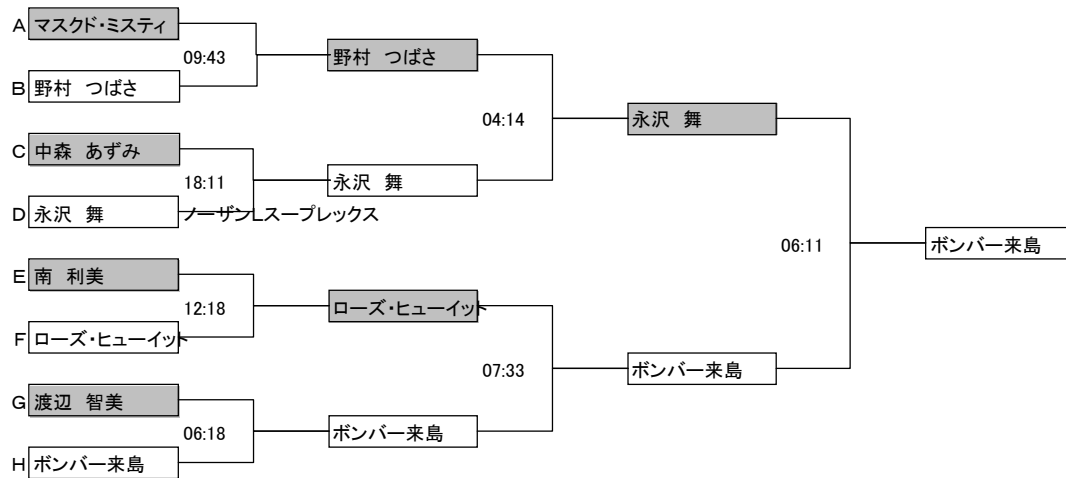
地方大会・中国B



『観戦記』

強豪ひしめく中国地方。近畿から転入のミシェール滝にはいきなりマイティ祐希子の洗礼！
 A地区は遂に決勝にまで昇りつめた眠れる龍・沢崎を、マイティ殺し秋山がゴング直後の2連続コブラで退け優勝。
 B地区はマッキーのパワーに女王・マイティは追い込まれつつも、最後はムーンサルト2連発で快勝。
 地方決勝は、片逆エビx2とサソリで女王の脚と体力を削り尽くした後、最後はお株を奪うペ・レベルサで秋山が激勝！
 中国地方の新女王に君臨しました。秋山はこれで2度目のマイティ殺し。歴史に残ります。
 今大会、関東の市ヶ谷に続いて、中国地方でも女王の5連覇が阻まれました！

地方大会・四国



『観戦記』

出現率は異常に高いものの、その予選の相手がことごとく強豪という、運が良いのか悪いのかわからないお嬢様・ローズ。

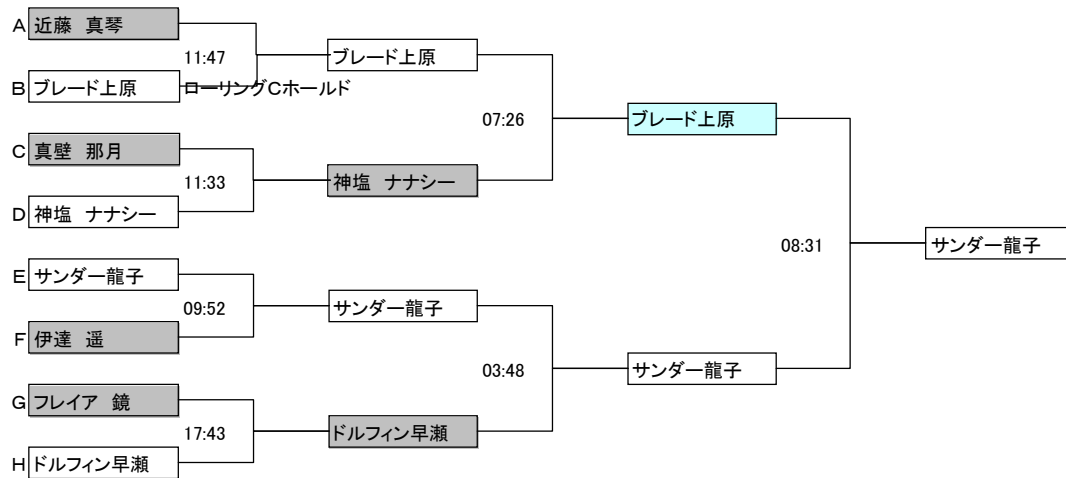
しかし！今回は南サマをパワーで葬りました！全国大会優勝経験者・南サマ、1回戦敗退の衝撃！

その他、野村つばさがマスクド・ミスティ相手に終始有利に試合を進め、初勝利！

中森あずみも強豪・永沢をあと1歩まで追い詰める善戦をするなど、下克上の嵐が吹き荒れた四国大会。

勝ったのは、好機逃すべからずとパワーで飛び出たボンバー来島！永沢に大苦戦するも最後はナパームを炸裂させ初の決勝トーナメント出場を決めた。前回の決勝大会準優勝者・永沢は、5回目の大会にして初の予選落ちです。

地方大会・九州



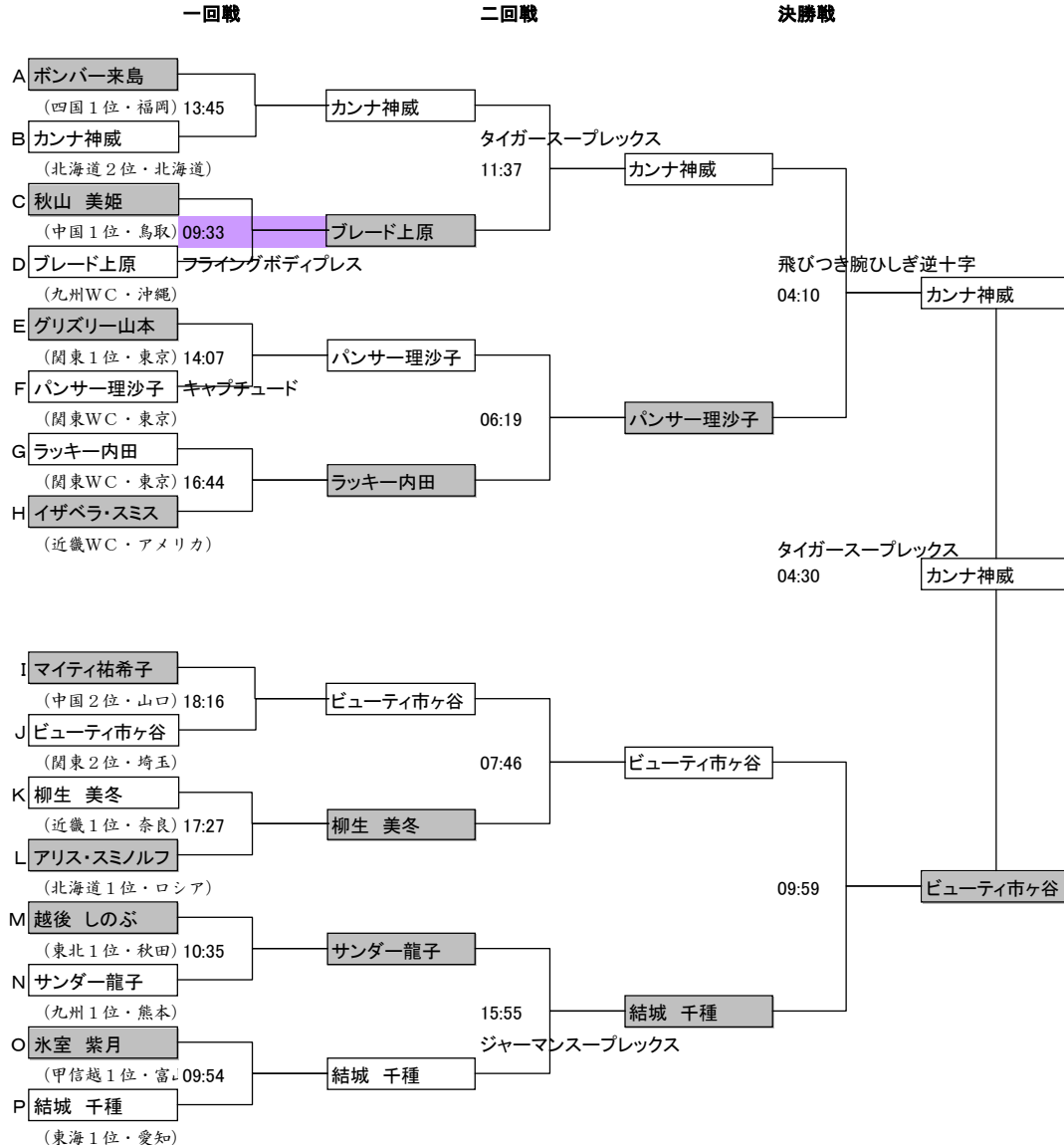
『観戦記』

サンダー龍子、圧勝。万全の試合運びで、4大会連続で九州王座に輝きました。
 ワイルドカードでブレード上原が初の決勝トーナメント進出。
 今大会のワイルドカードラインの低さにも助けられましたが、オールドファンにとっては四国のポンパーともども嬉しい面子が決勝にコマを進めました。

<予選>

- ・ワンナイトトーナメント、L3で開催(16名地区は16名トーナメント)。
- ・各地区の選手数は8の倍数とし、足りない選手はランダムで海外選手を選抜し招待した。
- ・その上で、各地区ごとに抽選を実施し、組み合わせを決定した。
- ・各ブロック1位、およびWCとしてブロック決勝での試合時間上位4名が決勝進出。
 WC: パンサー理沙子、イザベラ・スミス、ラッキー内田、ブレード上原

第5回決勝トーナメント大会



『観戦記』

日本人レジェンド選手8名、日本人サバイバー新人6名、外国人選手2名が勝ち上がりました。
 日本人初出場3名(ラッキー、ボンバー、ブレイド)は、いつかは出てくると期待された選手たちだけに楽しみな決勝大会です。
 遂に実現、ビューティ対マイティの闘いは、両者地方チャンプを奪われた鬱憤を晴らすようかの熱戦！ 最後はニーリフトでマイティが地に伏しました。
 1回戦ペナルティはまさかの秋山。中国地方からの放出は境界県出身者なので……山口県から1人放出！ ますます四国が超絶地区となりそうです。
 準決勝1試合目は、ブレードに極限まで削られたカンナ不利が予想されましたが、カンナは逆にそれを利用して必殺カードによる速攻でパンサーを2撃粉砕
 2試合目は、結城のコブラで体カゼロまで追い込まれつつも、パワーと打撃攻撃連発(必殺使わず)で逆転したビューティ市ヶ谷が初の決勝進出。
 決勝はダメージ状態の2人の強豪がゴング直後から大技の応酬の末、カンナが2度目の頂点に君臨しました。ビューティー歩及ばず！

<決勝>

- ・ワンナイトトーナメント(16名)、L3で開催。
- ・優勝者の所属地区は、次回大会の決勝進出枠を+1名とする。
 優勝者所属地区:北海道(カンナ神威)
- ・1回戦で最短試合時間で負けた地区は、隣地区と隣接県出身者から2名、隣地区へ移籍とする。
 ただし、その地区が優勝者の所属地区だった場合は、このペナルティは免除とする。
 ペナルティ地区:中国(秋山 美姫)